

平成28年第5回牧之原市議会定例会 行政報告

平成28年第5回市議会定例会の開会に当たり、当面する市政の重要な課題に関し、所信の一端を申し上げます。

まず、安全・安心への取組みについてであります。

国の改定原子力災害対策指針に基づき、原発事故時に甲状腺被ばくを防ぐ安定ヨウ素剤の事前配布をいたしました。

配布は、10月22日から11月6日までの5日間で、浜岡原子力発電所のPAZ（予防防護措置区域）圏内の地頭方地区5区及び大江区を除く相良地区5区の市民に配布いたしました。なお、配布率は約7割であり、未配布の圏内市民には追加の説明会を実施いたします。

この配布を通して感じたことは、安定ヨウ素剤を服用するときは、この地域から避難をしなければならないときであり、配布をもって安心感は得られるものではないということです。避難計画を作成し、ヨウ素剤を事前配布するエネルギーが本当に必要なのか、私は改めて浜岡原子力発電所については、「再稼働することなく永久停止すべき」との考えは間違っていないと認識したところであります。

しかし、現実に浜岡原子力発電所は使用済燃料を保管し存在しております。

今後は、住所や距離によって市民が区別されることなくPAZ以外の市民（UPZ市民及び市内来訪者等）にも事前配布ができるよう、県を通じて、法令の改正を含め国に要望してまいります。

また、市民の学びの場の創出といたしまして、福島原発事故後の現状やエネルギー問題などの様々な意見や考え方に触れ理解を深めていただくことを目的に、「牧之原市のくらしとエネルギーを考える意見交換会」も開催いたしました。

9月から11月にかけて市民ファシリテーターの協力のもと、講演などによる情報提供とワークショップの2部構成で計4回開催し、約40名の市民と中部電力の従業員の皆様にご参加をいただきました。

第4回目の意見交換会では、私たちは具体的に何ができるのかについて話し合いを行い、「よりたくさんの人に考えてもらうために現地研修や意見交換を続けていく」「小中高校生に対して授業で正確な情報を伝える」「自分や若い人達が仕組み・知識・情報を正しく知ることができるよう学ぶ場の機会に市民として参加していく」など、多くの意見をいただきました。

今後も、お互いの意見を聞いて話し合う対話の場を広げてまいります。

日曜日に予定しております地域防災訓練では、自助・共助をテーマとした訓練を実施いたします。熊本地震での課題やこれまでの防災訓練の成果を踏まえ、中学生など若い世代のより多くの参加をお願いするとともに、地域における防災力の向上を目指した実践的な訓練の実施を呼び掛けております。

また、昨年に引き続き、陸上自衛隊第34普通科連隊第1中隊の協力をいただき、自衛隊の野外炊事車による炊き出し訓練を小堤山公園で実施するとともに、菅山区と三師会の協力のもと相良総合グラウンドで行われる傷病者搬送訓練に際し高機動車を派遣していただきます。

災害時における自衛隊などの炊き出し訓練や傷病者搬送訓練などを実際に見学いただくことにより、自助・共助の確認など各家庭と地域における防災体制の強化を図ってまいります。

都市防災事業につきましては、想定される南海トラフの巨大地震から市民の生命・財産を守るため、平成24年度に市民の皆様とともに作成いたしました津波防災まちづくり計画に基づき、国の支援のもと平成26年度から整備に取り組んでまいりました。

これまでに津波避難タワー4箇所と津波避難ビル、避難地・避難路6箇所が完成し、現在、いのち山、防災公園、避難地・避難路など10箇所の工事を進めております。今年度末の進捗率は66%を見込み、平成30年度にすべての完成を目指しております。

また、今回の地域防災訓練に併せ、片浜地区、須々木地区の避難地・避難路の完成式も予定されております。

次に、オリンピック開催地及びホストタウン事業についてであります。

2020年東京五輪サーフィン競技につきましては、IOC（国際オリンピック委員会）、ISA（国際サーフィン連盟）、組織委員会の三者協議を経て、今月のIOC理事会の会議で開催地が正式決定されとの報道がされております。

市としましても、ISAの日本団体でありますNSA（日本サーフィン連盟）に、再三にわたり牧之原市の優位性を訴え、開催地誘致に向け取り組んできたところであります。

また、ホストタウンにつきましては、アメリカ合衆国及び中華人民共和国を相手国とし、第3次登録に申請をしたところであります。

今回の登録には、全国で101件、静岡県では5件の申請があり、決定は今月上旬になるとのことです。

登録されましたら、それぞれの国と詳細を詰め、受け入れ態勢などを整え、具体的

な交流事業の実現に向け取り組んでまいります。

市では、現在、マリンスポーツ関係団体や市内団体などの皆さんとの意見交換会の開催などにより、市内海岸線15キロメートルにおけるゾーニングや、それぞれの海岸の良さを引き立てるおもてなしの方法なども含め、魅力的な「沿岸部活性化計画」の策定に取り組んでいるところであります。

その主となる施設で民間企業が計画しておりますウェーブプールにつきましては、現在、企業とともに、整備予定地の選定を含め、用地の調整手法や整備に係る規制についての課題解決に向けた検討を行っているところであります。

次に、産業の活性化と賑わいづくりについてであります。

日本経済にとりまして、また、中国経済にとりましても、日中両国の関係は切っても切れない状況にあります。富士山静岡空港の立地市である牧之原市は、これまで、中国メディアをはじめ各方面への牧之原市のお茶などのPRと併せ、国内外に対しM I J B C 構想についての理解を深める事業を展開しているところであります。

こうした取り組みにより、現在、中国側から農業や観光分野においても具体的な投資の提案もされておりますので、今後も国や県などの関係機関と広域的に連携し、事業の推進を図ってまいります。

市道大倉壱丁田線の整備事業につきましては、現在整備中の市道東萩間西原線、本年4月に供用開始した市道壱丁田北線とともに、産業拠点へのアクセスの改善と地域の交通渋滞の解消を目的として実施しております。

10月の安全祈願祭以降、来年度からの本格的な工事实施に向けて立木の伐採や工事用道路の築造工事を実施しており、国の社会資本整備総合交付金を最大限に活用することで平成30年度末の完成を目指し、市産業の活性化に寄与できるよう積極的に事業を進めてまいります。

続いて、輝く高台開発プロジェクトにおける東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側の開発についてであります。土地区画整理事業の実施に向けまして、事業に関心を持つ企業への情報提供や事業計画の策定を進めるとともに、地区協議会や準備組合設立に向けた役員会、地権者の皆様との話し合いを行っております。

昨日は、地権者の皆様を対象とした全体説明会を開催し、土地区画整理事業の仕組み等について理解を深めたほか、具体的な事業内容の検討や企業と調整を図るために必要な準備組合の設立を目指すこととし、賛同書の提出を役員会の皆様と共にお願いいたしました。

12月4日にも同様の説明会を開催し、準備組合が早期に発足できるよう取り組ん

でまいります。

商工会主催の第2回の「さがら湊食堂」が相良港で10月30日に開催されました。前回同様、大変好評で、新鮮な水産物の魅力や市内商店の市民力を大いに感じたところであります。

また、11月27日には毎年行われている産業フェアが開催され、多くの市内事業者などが出店し、市内外からの来場者で大変賑わいました。

昨年度、市制10周年記念事業として開催いたしました「まきのはらビタミンツデーウォーク」は、その運営をより市民のレベルで行う体制として、11月26日、27日の2日間で開催されました。

今回は、地頭方地区と相良地区をエリアとして行われましたが、中学生や高校生、地域の方々など多くのボランティアの協働により、市内外からの参加者の健康づくりに併せて、牧之原市の魅力もPRしていただきました。

更に市内では、多くのショップや市民、NPOなどが多彩なイベントを自主的に展開しております。

それらのイベントを含め、より多くの皆様が牧之原市に来ていただき、市の賑わいが高まるよう、関係者と話し合い理解を深め、支援を行ってまいります。

また、今月19日には橋幸夫さんに静岡牧之原茶親善大使に就任していただく予定であります。

橋さんの新曲「ちゃっきり茶太郎」は、日本の茶をテーマとして牧之原台地の茶畑を舞台にしております。この曲とともに、牧之原台地のお茶のおいしさを国内外に発信できるよう、関係市と共に取り組んでいるところであります。

次は、子育て支援についてであります。

まず、相良中学校の空調設備についてであります。来年度の施工予定を前倒しして整備するための予算を本定例会に提案させていただきました。

普通教室と音楽室、合わせて19教室に空調設備を設置し、より良い学習環境を作っております。

また、本年4月に運用を開始した子育て連携システム「まきはぐ」につきましては、11月末で子どもを持つ世帯の83.2%にあたる2,779世帯の方に加入していただき、予防接種のスケジュール管理や、学校、保育園、幼稚園からのお知らせなど、様々な場面で活用していただいているところであります。

予防接種や健診日程を対象者にメールでお知らせすることで、接種や受診忘れが減少したほか、システムを活用したアンケート調査により、質問に対し即座に回答が得

られるなど、目に見えた効果も表れています。

今後は、「まきはぐ」の情報サイトに市民が身近な子育て情報を投稿する「市民記者投稿支援システム」の仕組みを導入するため、その関連経費を本定例会に提案させていただきます。

今後もより一層多くの子育て世代の方に利用していただけるようなシステムとなるよう努力してまいります。

次に、公共施設マネジメントについてであります。

公共施設マネジメント基本計画につきましては、計画期間を20年とし、その取り組みを進める考え方や方向性をとりまとめるとともに、施設分類別に平成28年度から4年間の具体的な取組みを示させていただきました。

今後は、基本計画に基づき片浜小学校や庁舎など、個々施設の具体的な計画策定を進めてまいります。

また、12月27日に地域再生プロデューサーであります建築家の清水義次様を講師として、市民を対象に公民連携によるリノベーションまちづくり講演会の開催を予定しております。

片浜小学校の利活用につきましては、牧之原市の中央に位置する利点を活かし、南校舎は、絆づくり・交流の場となるよう市民活動の拠点施設としての活用を考えております。一方、北校舎は、民間利用を視野に入れ、人材育成・産業振興に寄与する施設として利用することを検討しております。

次に、相良公民館の閉館についてであります。

東海・東南海地震に対します耐震性能が非常に低いことから、集会施設の継続的な利用について様々な検討を重ねました結果、市民の生命の安全を第一と考え、本年度末をもって閉館することといたしました。

活動の拠点として利用していた施設が閉館となることに伴います市民の方々の様々な不安を解消するために、これまで利用団体や関係者、区役員、地域の方々などに対して、経緯の説明や代替え施設の相談等を行ってまいりました。

今後も継続して市民への細かな対応、丁寧な説明を行い、円滑に閉館ができますよう努めてまいります。

また、過日、御前崎市から火葬場の一部事務組合による共同事務から離脱する旨の申し出がありました。今後は、一部事務組合のあり方とともに、関係市町とも連携し、公共施設個別計画策定の中で、これらの施設につきましても検討を行ってまいります。

次に、広域連携についてであります。

まず、連携中枢都市圏の形成につきましては、中部5市2町首長会議において連携中枢都市圏の形成を念頭にした議論を加速化させることに合意したと、既に報告をさせていただいたところであります。

現在、事務レベルでの課題の洗い出しなどを行っておりますが、12月末に予定されております中部5市2町首長会議におきましては、さらに連携ビジョンや広域事業などについて議論してまいります。

また、これまで中部地区観光協議会として県中部地区の行政・観光協会・民間組織が観光振興を行ってまいりましたが、発展的解散により「(仮称)静岡県中部・志太榛原地域DMO」として中部地域5市2町で新たな観光の取組みを行うこととなりました。

今までよりも観光資源が豊富になることにより、国内外へのPR効果が高まり注目度も高まります。本市といたしましても既存の資源や仕組みを磨き上げるとともに、新たな観光商品の開発に取り組むことにより、更なる観光交流客の増加に努めてまいります。

次に、本定例会に議案を上程させていただきました坂部保育園と総合観光センターの指定管理についてであります。

まず、坂部保育園につきましては、6月に指定管理者の募集を行い、2者から応募がありました。

選定に関しましては指定管理者選定委員会に審査をお願いし、申請書類による審査、現地調査及び応募者によるプレゼンテーションなど4回にわたる審議、各審査項目を点数制により評価していただき、学校法人榛原学園を指定管理者候補として答申をいただいたところであります。

指定期間につきましては、平成29年度1年間の引き継ぎ保育を経て、平成30年4月1日から平成38年3月31日までの8年間となっております。

また、総合観光センターにつきましては、公募によらない方法とし、これまで指定管理を行っている牧之原市観光協会を、坂部保育園と同様に指定管理者選定委員会により申請書類の審査・評価していただき、牧之原市観光協会を指定管理者候補との答申をいただきました。

指定期間につきましては、平成29年4月1日から平成34年3月31日の5年間となっております。

今後も民間活力の活用により、より一層の行政サービスの向上と効率的な施設運営に取り組んでまいります。

なお、現在、民間バス事業者により相良から渋谷までを結ぶ新規路線、仮称：渋谷ライナーが、往路、復路それぞれ4便で計画がされております。

現時点では、まだ、国土交通省の認可が出ていない状況であります。12月中旬の路線開設を目途としており、正式決定となれば首都圏とを結ぶ直行便として、市としても大変期待をしております。

最後に、本年8月から着手された光ファイバー網の整備につきましては、11月末現在において進捗率は約70%となっており、平成29年3月中旬の完了を目指し順調に整備が進められております。12月5日からは、関係の市民の方々等を対象にサービスへの加入等についての説明会が開催される予定となっております。

明日は、第17回しずおか市町対抗駅伝が開催されます。これまで取り組んできた練習の成果をいかに発揮し、これまでで最高の順位とタイムでゴールできるよう祈念するとともに、牧之原市チームのがんばりを大いに期待しております。

総合計画、総合戦略を策定して2年目となります。将来都市像「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う N E X Tまきのはら」の実現に向けて、今後も市民と一丸になって努めてまいります。

以上、所信の一端について申し上げ、行政報告といたします。

平成28年12月2日
牧之原市長 西原 茂樹